

わ

く

わ

く

7・8月号



本 だ な

1

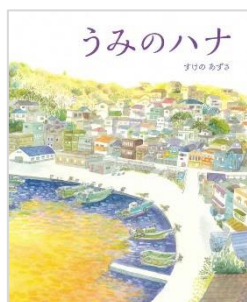
2

3

年



えほん



E『うみのハナ』

すけのあずさ／作 BL 出版

ふうちゃんは、うみべにあるおじいちゃんのいえにあそびにいきました。そこでは、うみにしずむゆうひのひかりが、キラキラと花のようにふるハナフリをみることができます。ふうちゃんは、おばあちゃんからハナフリのおもいでをききます。

K913『ともだちはしおりのこぶた』

真山みな子／作 山西ゲンイチ／絵 金の星社

まゆは、るすばん中に一人で本をよんでいました。すると、本にはさんだしおりから、こぶたがとびだしてきました。こぶたの名前はくぷーもん。はじめて一人で本をよむ子につかってもらうと、しゃべったりうごいたりできるということです。

ものがたり



K913『けんかのたね』

ラッセル・ホーバン／作 小宮由／訳 大野八生／絵 岩波書店

お父さんがいえにかえると、かぞくが大さわぎしていました。犬はねこをおいかけまわし、4人の子どもたちは大げんか。なにがあったのかきいてみても、みんな自分**じぶん**はわるくないといいます。どうしてけんかが**けんか**はじまったのでしょうか？

ものがたり

E『そだててみたら…』

スギヤマカナヨ／作・絵 赤ちゃんとママ社

どんなたねでもいいから、そだてて日誌をつけるしゅくだいができました。そこで、「たねや」さんに行ってみると、お店には、たねがいっぱい。よく見ると、形もさまざまです。ぼくは「おたのしみ話のたね」をえらんで、そだてることにしました。

ちしきのほん



としょかんのまどぐちには、くみたてると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね！〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200

わ

く

わ

く

7・8月号

本

だ

な

4

5

6

年



物語



K913 『だいたいじょうぶくん』

魚住直子／作 朝倉世界一／絵 ポプラ社

そうたはリサイクルショップで、すてられそうになっていたぬいぐるみをもってきました。そのぬいぐるみは<だいたいじょうぶ>という名前で、子どもだけに聞こえる声で会話することができるのです。

<だいたいじょうぶ>は、前の持ち主の<まりちゃん>に会いたがっていました。

K913 『あっちもこっちもこの世はもれなく』

いとうみく／作 ころりよ／絵 PHP 研究所

バレーボールクラブに入っている公太は、背が低いことがなやみです。同じクラブの希来里は背が高くて、公太は不公平だと思っています。ある日、公太は希来里に連れられて競馬場にやってきます。そこで、希来里にもなやみがあると知ったのです。

物語



K913 『病院図書館の青と空』

令丈ヒロ子／著 講談社

入院中の空花は、病院内にある「あおぞら図書館」に行ってみました。本が大好きな空花は、前に読んだ『長くつ下のピッピ』を見つけます。お気に入りのクッキーを焼く場面をなつかしく見ていると、なにやらいいにおいがしてきました。そして突然、さし絵の中に青い服の女の子があらわれて、空花は、本の中に引き込まれてしまいます。

物語

K289 『ライトニング・メアリ 竜を発掘した少女』

アンシア・シモンズ／作 カシワイ／絵 布施由紀子／訳 岩波書店

メアリは、父親を手伝って化石を発掘し、観光客に売っていました。化石がとれる場所はとても危険でしたが、メアリは発掘が大好きです。あるとき、メアリと兄のジョセフは、とてつもなく大きな生き物の頭がい骨を見つけました。

ちしきの本



図書館のまどぐちには、くみたてると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね！〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200